

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成17年 9 月 12 日 14時00分～16時00分
	場所：天神ビル
PI活動の種類	懇談会（利用企業等）
訪問時の状況	市民等参加者 20名程度 事務局従事者 10名 <ul style="list-style-type: none">福岡の地元経済界の方々の参加であり、かなり実務的な色彩が強かった。女性の参加はなく、比較的年配の方々に構成されていた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">質問が10以上出た。「現空港の機能向上」「周辺サービスの向上」についての質問が多かったため、もう少し現状の問題点を空港だけに限らず、周辺サービスがどのように変化しているのか、今後どのようなようになるのかなど、空港整備の付加的な要素についてもさらに説明することが望まれる。今回は説明を聞かれる方々が経済界ということもあり、要点を絞って説明・質問に対する回答も比較的簡潔という印象であった。やはり「現空港での問題」(現状維持を行うと出てくる問題)の認識が調査側の認識とかなりずれている。この「現状維持を行うと出てくる問題」についてさらに詳しく説明する必要がある。「空港が混んでいる」点をビデオを使って説明しているが、前回も少し感じたが、どうも今ひとつ実感がわからない。おそらくアングルの問題であろうが、「混んでいると不便である」ことを伝えるのであれば、もう少し工夫した方がよい。特に実業の方々からすると混んでいることによる不利益は相当大きいはずであり、そのあたりを理解していただくことは重要である。